



【若手研究グループ No.03】

第 4 回若手研究グループ

「多様な先端観察・測定法を用いた組織の定量と力学特性解析への適用」

現在、各種先端観察・測定法が開発され、それぞれの分野でさらなる高度化とその適用範囲の拡大が進められています。本研究会では、構造用材料に対して各手法を相補的に適用し、新たなシナジー効果を創出する為の基礎指針の確立を検討しています。第4回研究会では、新規材料での測定結果の報告やまとめを行います。また、今後の連携について議論し、研究グループの活動を総括します。参加ご希望の方は下記までお申込み下さい。

日時： 2019年11月25日（月）10:00～12:00（幹事会）、14:00～19:00（研究会、受付開始13:30）

場所： プロム松山市駅前3会議室（〒720-0012 愛媛県松山市湊町4丁目11番地2
第7コートエルビル2F TEL: 089-941-0033）アクセス：伊予鉄環状線松山市駅東 徒歩1分

11月25日（月）

14:00～14:10

(1) 挨拶・研究会趣旨説明

金沢大理工 宮嶋陽司

14:10～15:10 座長 古賀紀光

(2) 招待講演

低炭素鋼マルテンサイト鋼で見られる低温焼き戻し脆性とその応力遮蔽効果に基づく理解 (60)

九大工 田中將己

15:20～16:20 座長 宮澤知孝

(3) 招待講演

アルミニウム合金の引張変形中における転位密度変化に及ぼす結晶粒径、固溶原子、析出粒子の影響 (60)

兵庫県立大工 足立大樹

16:30～17:25 座長 高田尚記

(4) X線ラインプロファイル解析による高炭素マルテンサイト鋼の転位密度解析 (30)

九大工 増村拓朗

(5) 極低炭素鋼におけるリュウダース変形の2方向観察 (25)

弘前大学理工 紙川尚也

17:30～19:00 座長 宮嶋陽司

(6) 総合討論

企画責任者 宮嶋陽司（金沢大）、宮澤知孝（東工大）

参加費 無料

申込・問合せ先 11月15日（金）までに E-mail にて氏名・所属・電話番号・メールアドレスを明記してお申し込み下さい。 E-mail : miyazawa.t.ab@m.titech.ac.jp